



# 第2次 始良市環境基本計画 概要版(2024年 3月策定)

地域の恵みを受けた暮らしと持続可能な社会を実現し、住みよい県央都市 あいら

始良市



# 未来の始良市の環境はこうでありたい！！

～ 自然豊かで美しい始良市を目指して、今すぐに取り組をはじめよう ～

## 【豊かな森が豊かな海を育む！】

- ・スマート林業の推進等により、効率的かつ持続可能な林業が実現しています。また、森と海のつながりの重要性が認知され、多様な主体が森林整備に協力しています。



## 【有機農業が生きものと健康を守る！】

- ・環境にやさしい農業である有機農業が盛んに行われています。また、生産された農産物は始良市内で地産地消され、市民の食卓を支えると同時に健康増進にも寄与しています。



## 【在来の生きものが戻ってくる！】

- ・住吉池などでは外来魚が駆除され、在来の魚類や水生昆虫、水草などが数多く生息・生育するようになってきました。また、市民や事業者が外来種問題に関心を持ち、自主的に駆除・防除活動に取り組んでいます。

## 【生きものに配慮した公共工事が定着！】

- ・公共工事を行う際には、開発前よりも自然環境を良い状態に持っていく「生物多様性ネットゲイン」の考え方が取り入れられ、土地開発と自然保護が両立されています。

## 【多様な主体が協働・連携し、環境を守る！】

- ・市民、事業者、市民団体、行政機関など多様な主体が協働・連携し、本市の環境を守っています。その取組が認められ、環境省の自然共生サイトに認定されている場所もあります。

## 【2050年ゼロカーボンシティを達成！】

- ・全ての主体が地球温暖化対策に全力で取り組み、2050年までにゼロカーボンシティを達成しています。



## 【誰もが環境について学び、活動している！】

- ・学校では、授業の一環として環境学習が取り入れられており、その学習内容が家庭等で実践されています。また、市や市民団体は、自然環境を活かしたフィールドワークをはじめとした幅広い環境学習プログラムを提供し、多くの市民や事業者がそこに参加しています。



### 【自然の中で余暇を過ごす人が増加！】

- ・県民の森やさえずりの森にはたくさんの方が訪れ、ルールを守りながら自然とふれあい、学び、余暇を満喫しています。

### 【きれいな河川が山と海をつなぐ！】

- ・水質改善と多自然川づくりによる魚道等の適切な整備により、河川にはアユやウナギなどたくさんの在来の生きものが生息・生育しています。

### 【空き家等が適切に管理・活用されている！】

- ・空き家や空き地が適切に管理され、移住希望者等から人気を博しています。また、空き家や空き店舗を活用するビジネスも盛んに行われ、地域活性化につながっています。

### 【モビリティ革命で移動がより楽に！】

- ・公共交通機関が整備されているだけでなく、互いに連携して移動が楽になっています。また、市内を走る車は電動化され、再生エネルギーを活用した充電スタンドが充実しています。

### 【ごみが少なくポイ捨てもない美しいまちに！】

- ・3Rの定着や食品ロスの削減によりごみ排出量が減少しているだけでなく、バイオマスプラスチックなどの環境負荷の少ない素材への転換が進んでいます。また、市民等の環境意識の高まりにより不法投棄やポイ捨てがなくなり、美しいまちが維持されています。

### 【重富干潟と錦江湾がより豊かに！】

- ・森林の適切な整備や過剰な林地開発の防止等により重富干潟への土砂流入量が減少し、豊かな生態系が維持されています。そこには、かつてのようにたくさんのアサリが生息し、潮干狩り客で賑わっています。また、沿岸域にはアマモやワカメ等が繁茂し、生きものたちのゆりかごとなっているだけでなく、二酸化炭素を吸収・固定して地球温暖化対策にも貢献しています。

### 【省エネかつ快適な暮らしが実現！】

- ・ZEHやZEBが普及し、家庭や事業所から温室効果ガスが排出されなくなっています。また、高断熱+機器の効率化により、快適な生活環境（職場環境）が実現しています。

## 計画の位置づけ

本計画は、「始良市環境基本条例」第9条に基づいて策定するもので、「第2次始良市総合計画（後期基本計画）」のうち、環境に関連する分野を体系化・具体化するものです。

## 計画期間と目標年度

計画開始

目標年度

2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033
計画期間（2024年度～2033年度）									

※本市を取り巻く環境や社会情勢の変化、科学技術の進展などを踏まえ、必要に応じて計画内容の見直しを行います。

## 目指す環境像

地域の恵みを受けた暮らしと持続可能な社会を実現し、  
住みよい県央都市 あいら











### 日々の暮らしや生活を、“脱炭素型”に転換しよう！

本市は、2050年までに温室効果ガス排出量を全体としてゼロにすることを旨とする「始良市ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。この目標達成に向けては、市民や事業者の皆様の協力が必要不可欠です。日々の暮らしや生活を“脱炭素型”に転換していくため、環境省の推進する「ゼロカーボンアクション30」を積極的に実践していきましょう（「ゼロカーボンアクション30」の詳細は、右の二次元コードから確認できます）。



ここから  
アクセス！

 <b>エネルギーを 節約・転換しよう！</b> ①再エネ電気への切り替え ②クールビズ・ウォームビズ ③節電 ④節水 ⑤省エネ家電の導入 ⑥宅配サービスをできるだけ一回で受け取ろう ⑦消費エネルギーの見える化	 <b>環境保全活動に 積極的に参加しよう！</b> ⑩植林やごみ拾い等の活動   <b>太陽光パネル付き・ 省エネ住宅に住もう！</b> ⑪太陽光パネルの設置 ⑫ZEH（ゼッチ） ⑬省エネリフォーム 窓や壁等の断熱リフォーム ⑭蓄電池（車載の蓄電池） ・省エネ給湯器の導入・ 設置 ⑮暮らしに木を取り入れる ⑯分譲も賃貸も省エネ物件を 選択 ⑰働き方の工夫	 <b>3R（リデュース、 リユース、リサイクル）</b> ⑱使い捨てプラスチックの 使用をなるべく減らす。 マイバッグ、マイボトル等 を使う ⑲修理や修繕をする ⑳フリマ・シェアリング ㉑ごみの分別処理	 <b>食品ロスをなくそう！</b> ㉒食事を食べ残さない ㉓食材の買い物や保存等での 食品ロス削減の工夫 ㉔旬の食材、地元の食材で つくった菜食を取り入れた 健康な食生活 ㉕自宅でコンポスト   <b>サステナブルな ファッションを！</b> ㉖今持っている服を長く大切に 着る ㉗長く着られる服をじっくり 選ぶ ㉘環境に配慮した服を選ぶ
 <b>CO2の少ない製品・ サービス等を選ぼう！</b> ⑧脱炭素型の製品・サービス の選択 ⑨個人の ESG 投資		 <b>CO2の少ない 交通手段を選ぼう！</b> ㉙スマートムーブ ㉚ゼロカーボン・ドライブ	

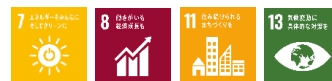
## 基本方針と取組の方向性

基本方針

1

地域の資源を最大限に活用し、効率的にエネルギーを作り、使うまちづくり（ゼロカーボンシティの実現）

### 脱炭素型ライフ・ビジネススタイルへの転換



市民・事業者の脱炭素型ライフ・ビジネススタイルへの転換を促し、主要4部門（産業、業務その他、家庭、運輸）における温室効果ガス排出量を削減します。

### 再生可能エネルギーの導入・利用促進



太陽光やバイオマス等の再エネ発電設備の普及啓発に取り組むとともに、各主体による積極的な導入・利用を推進します。また、再エネ発電設備の設置に当たっては、周辺環境や地域住民への配慮を呼びかけます。

### 気候変動への適応



気候変動による影響に適応した、安全・安心なまちづくりに取り組みます。

基本方針

2

“ごみ＝貴重な資源”が循環する、地球にやさしいまちづくり（循環型社会の構築）

### 3R+Renewable の推進



3R+Renewable の推進により、ごみの減量化をより一層進めるとともに、食品ロスの削減に向けた具体的な取組を検討・展開します。

### 不法投棄、ポイ捨ての防止



ごみや資源物の適正な排出・処理及び海洋プラスチックごみ削減の必要性に関する理解をより一層深めます。また、ごみ出しのマナーアップを図り、ごみの不法投棄を防止します。



太陽光発電システム(帖佐中学校)



エコクッキング教室の様子



山中への不法投棄

# 多様な自然や生きものとともに暮らすまちづくり (自然共生社会の構築)



## 地形・地質の保全

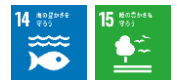
特徴的な地形・地質の学術的な重要性や、生きものの生息・生育基盤などとしての重要性を踏まえ、地形・地質の保全を推進します。

## 重要地域の保全



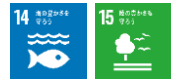
生物多様性の保全上重要な地域の保護地域指定を推進するとともに、広域的な視点で重要地域の環境管理を推進します。

## 里地里山里海の保全及び活用



里地里山里海の持続可能な利用と適切な管理を推進します。また、有機農業等の環境に影響の少ない農法を推進します。

## 希少野生生物の保全



希少野生生物の生息・生育状況の把握に努め、有効な保全対策を実施します。また、生態系に大きな影響を及ぼしている外来種の駆除・防除に努めます。

## 自然とのふれあいの場の確保



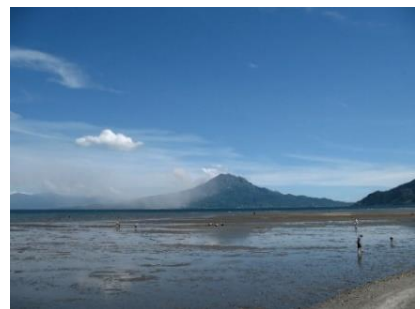
自然とのふれあいを通じて、自然のおもしろさや大切さを発信し、市民の自然環境保全意識の高揚を図るとともに、新たな人材や関係人口の獲得等につなげます。



米丸マール



住吉池



霧島錦江湾国立公園 重富海岸



ニホンアカガエル



クロツラヘラサギ



ハクセンシオマネキ

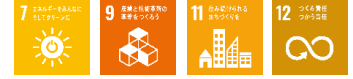
## 健康な暮らしを支える快適な環境のまちづくり (生活環境の保全)



### 水環境の保全

水生生物の生息・生育環境にも配慮した「きれいで豊かな河川や海」を目指して、家庭および工場・事業場の汚濁発生源対策を進めます。

### 大気環境の保全



大気環境への負荷低減に努めるとともに、健康被害の発生防止に向けた情報提供を行います。

### 騒音・振動・悪臭防止、空き家対策等の推進



法令に基づき、騒音・振動・悪臭の発生源に対する指導・規制や、発生抑制に向けた啓発を行います。また、空き家や空き地の発生予防と円滑な利活用を推進します。

## 地域と地球の環境に貢献する人づくり (環境教育・環境学習・環境保全活動の推進)

### 学校での環境教育の推進



学校での環境教育を進めるとともに、学校で学んだことを地域へ広げていく仕組みをつくり、環境意識が高い人づくりを行います。

### 地域での環境学習の推進



地域での環境学習を進めることにより、環境意識の高い人づくり、地域づくりを目指します。

### 環境保全活動の推進



各主体の連携・協働により、環境保全活動の充実・活性化を図ります。



雑草が繁茂した空き家



出前講座の様子



環境美化活動の様子



## 始良市の環境を守るため、できることに“今日から”取り組もう！

### 1 地域の資源を最大限に活用し、効率的にエネルギーを作り、使うまちづくり

- ゼロカーボンアクション 30 を積極的に実践し、脱炭素型ライフスタイルへの転換に努めます。
- 住宅を新築・改築する際には、ZEH 水準の達成や LCCM 住宅認定を目指します。
- 再生可能エネルギーから創られた電気の購入・利用を検討します。
- 各機関の支援制度を活用し、住宅用太陽光発電システムの設置に努めます。
- 緑のカーテン、適切なエアコンの使用、こまめな水分補給など、温暖化に適応したライフスタイルへの転換に努めます。

### エコな暮らしは、地球と家計を助けます！



1日9時間使用するエアコン  
(2.2kW) の設定温度を 27°C  
から 28°Cに変更すると…



約 15kg の削減



約 940 円の節約



月に1回程度、エアコン  
(2.2kW) のフィルターを清  
掃すると…



約 16kg の削減



約 990 円の節約



年間 2,000 時間点灯する 54W  
の白熱電球から 9W の電球形  
LED ランプに交換すると…



約 44kg の削減



約 2,790 円の節約



開けっぱなしにしていたト  
イレ (貯湯式) のフタを、閉  
めるようにすると…



約 17kg の削減



約 1,080 円の節約

※CO<sub>2</sub>削減量と削減金額は、1年間を通して実施した場合の値です。 出典：省エネポータルサイト (資源エネルギー庁)

### 2 “ごみ=貴重な資源”が循環する、地球にやさしいまちづくり

- 食料品は適量を買う、食べきれぬ量の食事を作るなど、食品ロスが発生しないように努めます。
- リサイクル製品や詰め替え製品などを積極的に活用します。
- 家庭で生じた廃棄物は、決められたルールに従い適正に処理します。
- ポイ捨てされているごみを見かけた場合は積極的に拾い、適正に処理します。



2021 年度の日本の国民一人当たりの食品ロス量はどれくらい？



1日：約 114g (お茶碗約 1 杯分のご飯)  
年間：約 42kg (国全体で約 523 万トン)

出典：農林水産省 HP







## 始良市の環境を守るため、できることに“今日から”取り組もう！

### 3 多様な自然や生きものとともに暮らすまちづくり

- 市や事業者が自然共生サイトへの認定を目指す場合、その取組に協力します。
- 地域の鳥獣被害低減のため、所有する農地や草地、山林の適切な管理に努めます。
- ため池や水路の維持管理活動の参加に努めます。
- 希少な動物を観察する場合は、その動物にストレスを与えないよう配慮します。
- 自然公園等の利用に際しては、規制やルールを遵守します。

### 4 健康な暮らしを支える快適な環境のまちづくり

- 家庭でできる生活排水対策の実践に努めます。
- 水辺の清掃・美化活動に積極的に参加します。
- 野外焼却などによる廃棄物の処分は行いません。
- ペットの鳴き声や楽器の音などにより、近隣に迷惑をかけないようにします。
- 所有している空き家・空き地の適正管理に努めます。

Q

生活排水を、魚がすすめる水質に戻すためにはどれくらいの水が必要？

A



牛乳 200mℓ (コップ1杯)

⇒水 3,300ℓ



みそ汁 180mℓ (お椀1杯)

⇒水 1,410ℓ

出典：生活排水読本（環境省）

### 5 地域と地球の環境に貢献する人づくり

- 学校での環境教育に関する理解を深め、家庭でも環境について話し合う場を持つようにします。
- 市民参加型調査や自然観察会などに参加し、環境保全に関する意識を高めます。
- 市民活動団体等との情報交換や交流を深め、活動を活性化させます。

始良市内にも、様々な環境学習・活動の機会があります。

- ★ 干潟の生きもの観察会（開催場所：なぎさミュージアム）
- ★ 錦江湾クリーンアップ作戦（開催場所：重富海水浴場 等）
- ★ 出前講座（始良市の山と海、ごみ減量とリサイクル 等）



干潟の生きもの観察会の様子

## 重点プロジェクト

施策・取組のうち、特に社会的・地域的ニーズが高いものについては、「重点プロジェクト」と位置づけ、優先的、重点的に取り組むこととします。

### 重点プロジェクト1

## ストップ温暖化！みんなで取り組むあいら脱炭素化プロジェクト

将来的な「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、省エネ活動の普及啓発や電動車の導入促進等を行い、始良市全体で脱炭素に取り組めます。

#### ① 実践的な省エネ活動の普及促進

⇒環境に関する出前講座の開催、省エネパンフレットの作成・配布、環境マネジメントシステムの取得支援 等

#### ② 住宅や事業所におけるエネルギー効率の最適化の推進

⇒エネルギーマネジメントシステムの導入推進、高効率設備への更新促進 等

#### ③ 環境にやさしい自動車（電動車）の導入促進

⇒公用車の計画的な電動化、充電インフラの整備 等

#### ④ 普及啓発を担う人材の育成

⇒「(仮称)地球温暖化対策アドバイザー」の創設、普及啓発活動を担う人・団体を対象とした研修会の開催 等



### 移動をエコに。“スマートムーブ”に取り組もう！

スマートムーブとは、日常生活において自家用車を中心としている移動手段を見直し、二酸化炭素排出量の削減を目指す取組のことです。具体的には、以下の5つのことに取り組んでみましょう。

1 公共交通機関（電車・バス等）を利用しよう

2 自転車や徒歩で移動しよう

3 自動車の利用を工夫しよう（エコドライブの実践、電動車への乗り換え）

4 長距離移動を工夫しよう（新幹線や公共交通機関の利用）

5 カーシェアリングやレンタサイクルを利用しよう



Q 人間1人を1km 運ぶのに排出される二酸化炭素量はどれくらい？

A 自家用車：132 バス：90 鉄道：25  
数値が小さいほどエコな移動方法 ※単位…g-CO<sub>2</sub>/人 km

出典：運輸部門における二酸化炭素排出量（国土交通省）

## 重点プロジェクト2

### くらしを支える再生可能エネルギーの導入・利活用プロジェクト

本市において利用が期待される太陽光発電システムや、木質バイオマスエネルギーの利用を促進し、地球温暖化防止へ貢献するとともに、エネルギー自給率の向上を目指します。

#### ① くらしや安全に配慮した再生可能エネルギーの導入促進

⇒「始良市再生可能エネルギー発電設備の設置に関するガイドライン」に基づいた再エネ発電所の建設 等

#### ② 木質バイオマスエネルギーの利用拡大

⇒地域全体のエネルギー循環、経済循環の実現を目指す推進組織の構築 等

#### ③ 再エネ電力の地域内での消費拡大

⇒公共施設への太陽光発電システムの導入検討 等

## 重点プロジェクト3

### 資源を大切にすまちないら ごみ減量化プロジェクト

3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生利用・再資源化）を中心とした取組によりごみの減量化を図るとともに、食品ロス削減対策を推進します。

#### ① 実践的なごみ減量活動の普及促進（3Rの徹底）

⇒実践的なごみ減量活動に関するパンフレットやガイドブック等を作成・配布 等

#### ② 「食品ロスゼロ」の達成に向けた取組の推進

⇒ホームページや市報等での継続的な普及啓発活動の実施、フードドライブ等の実施の検討 等

## 重点プロジェクト4

### あいらの恵まれた自然を次世代につなぐプロジェクト

調査やモニタリングを通じて、本市に生息・生育する生きもの等の基礎情報を収集するとともに、必要に応じてその情報を発信します。また、まちづくりに「生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）」の考え方を取り入れるなど、環境保全と防災・減災の両立を図ります。

#### ① 生きものに関する調査・モニタリングの推進

⇒生きものの保護に配慮しながら、可能な範囲でデータを公開する体制の整備 等

#### ② 取組内容とモニタリング結果の発信

⇒市のホームページなどを通じた情報発信 等

#### ③ Eco-DRRの推進による環境保全と防災・減災の両立

⇒ホームページや市報等での継続的な普及啓発活動の実施 等

## 重点プロジェクト5

### 山～川～海のつながり再生プロジェクト

本市は、山々の源流域から海域まで一連の環境がみられるまちですが、これらのつながりは開発などにより分断され、さまざまな環境問題が発生しています。本プロジェクトは、山～川～海のつながりを取りもどし、持続可能な地域づくりを目指すものです。

#### ① 山～川～海のつながりを再生するための取組の推進

⇒多面的機能を考慮した森林管理の推進、環境保全型農業の推進、砂防ダムの改良、排水の適正処理 等

#### ② 「30by30」目標達成に向けた保全区域の設定

⇒企業や NPO 団体等と連携した「保護地域以外で生物多様性保全に資する地域（OECM）（＝自然共生サイト）」への認定 等

#### ③ ブルーカーボンの創出を見据えた藻場の再生

⇒「あいら藻場・干潟再生協議会」等と連携した藻場の再生に向けた取組の推進、ブルーカーボンの創出・活用に向けた定量的な評価方法に関する情報収集 等

#### ④ 地域特性や地域資源を活かした「地域循環共生圏」の形成に向けた取組の推進

⇒「JA あいら」や「鹿児島県漁業協同組合 錦海支所」等と連携した農林水産物の地産地消の推進、木質バイオマス等の利活用によるエネルギーの地産地消 等

#### ⑤ エリア別の重点的な取組の推進

⇒再エネ設備の導入に向けた「ポジティブゾーニング（再エネの促進区域の設定）」の検討 等

## 推進体制

庁内の各課と連携・調整を図り、本計画を推進していくとともに、始良市環境審議会や始良市環境基本計画等策定委員会等において本計画の計画的な推進を図ります。

## 進行管理

進行管理は、環境マネジメントの考え方にに基づき、PDCA 方式により実施します。

## 財政措置

計画に掲げる施策を継続的に推進していくために、市は必要な財政措置を講ずるよう努めます。

### 第2次始良市環境基本計画【概要版】

編集：始良市 生活環境課（始良市宮島町 25 番地）

E-mail：seikatsu@city.aira.lg.jp

電話：0995-66-3819

FAX：0995-65-5559

計画の本編はここから！

